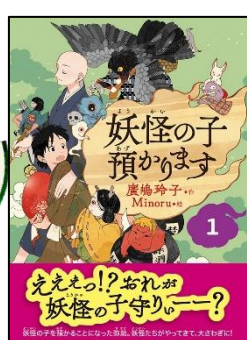
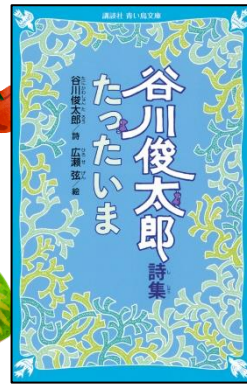




図書館だより

Step By Step!
7・8月号

図書館司書のあかねです。
今読んでいる本「レディオワ
ン」。日焼けが痛くて風呂で
泣く日々。



『めんどくさがりなきみのための文章教室』著：はやみねかおる（飛鳥新社）
作文、レポート、感想文……いったいどう書けばいいの!? とお思いのあなたにピッタリな入門書です。

作文が苦手な中学二年生ケンが、名前は「マ・ダナイ」と名乗る不思議な黒猫から文章を書くためのコツを教わっていきます。

例えば2章⑩『「ヤバイだけじゃヤバイ」から語彙を増やそう。』は、ボキャブラリー（語彙）の重要性がわかります。相手を見て話す場合「ヤバイ」を使っても、表情や声のトーンでどのような意味で使っているか伝わりますが、SNS やメールでは誤解をまねく恐れもあります。語彙を増やすにはどうしたら!? ぜひ読んでみてくださいね。猫がかわいいので猫好きにもオススメ。



『おカネの教室 僕らがおかしなクラブで学んだ秘密』著：高井浩章（インプレス）
新ジャンル青春経済学園ドラマ！ 友だち同士の会話を聞いているような気軽さで読める物語。と、いうのもあとがきによると、元々は作者の娘たちにお金について知ってもらうため書いていた家庭内回覧を小説化したのだとか。「飽きっぽい娘たちにどうにか続きを読んでもらいたい……」作者の工夫が楽しく、まんまと私たち読者も続きを期待して読んでしまいます。

主人公の恋の行方や、変な顧問の先生のあやしい過去、お嬢様の涙のワケが気になっているうちに、いつの間にか経済について考えを巡らせる新感覚経済小説です。おカネと切り離せない「働くこと」についても考えるきっかけになります。

夏休み

自由研究におすすめ



本のほかに、新聞やラジオも「なぜだろう?」「もっと調べてみたいな」という話題探しに役立ちます。

インターネットを使うなら「NHK 読むらじる。」をぜひ活用してみてください。☺

YouTube で OIST が沖縄の海岸探索について楽しく参考になる動画を公開しています。

<https://youtu.be/D2zxqnSOZgU>

夏休みの読書感想文を第一歩に

感想文課題図書

ふだんとは違う本にチャレンジしたい人へ

課題図書 中学校

これは恋なのか、それとも別の感情なのか

悠人が夜の公園で出会った少女・朱音は、母親の介護にたずさわる“ヤングケアラー”だった。彼女の力になりたいと思うようになる悠人だが――

少年とヤングケアラーの少女の物語

ウィズ・ユー

濱野京子・作 中田いくみ・画

くもん出版

第67回 青少年読書感想文全国コンクール

作文を書くのが苦手だと思っている人は多いのではないのでしょうか。そんなみなさんにおすすめなのが「読書感想文」です。

読書感想文は本のあらすじや作者の考え、自分の素直な感想を交えながら書いていくので、作文の基礎練習にぴったりなのです。

これから先、受験で小論文を書いたり、専門学校や大学ではレポートや論文を必ず書くことになります。大人になっても同じです。(メール、提案書、報告書など) 私たちは文章を書くことから逃れられません…。作文用紙の前で固まる時間を少しでも減らせるよう、ぜひ読書感想文をきっかけにこの夏、苦手意識を克服しましょう！

課題図書 中学校

科学者の伝記

草木を愛し、研究に明けくれた94年の人生を描く伝記

沙文社

誰にも負けない情熱が、運命を切りひらく!

日本植物学の父

牧野富太郎

文房水産美術 絵 田淵和彦

第67回 青少年読書感想文全国コンクール

課題図書 中学校

ドイツ兵から子どもたちを守れ! 命の尊さをうたいあげる希望の物語

同名タイトル 映画 原作本!

アーニャは、きっと来る

マイケル・モーバーゴ/作 佐藤見果夢/訳

第67回 青少年読書感想文全国コンクール

読書感想文

Q & A

「読書感想文をどうやって書いたらいいかわからない」
「どんな本を読んだらいいかわからない」
そんな声にお答えします。
さあ、読書感想文にチャレンジしよう！



イメージキャラクター おぼんちゃん

Q なぜ、本を読むことが大切なのですか。

A 一冊の本が、人生を変えてしまうことがあります。本の中で旅をしたり恋をしたり、冒険をしたり……。人は本の中でいろいろなことを体験できます。登場人物と自分の生き方や考え方を比べて、共感したり反発したりします。また、本を使って、疑問に思ったことを解決するために調べられることもできます。本を読んで新しいことを知ると、びっくりしたりうれしくなったりします。本は、人の心を成長させてくれ、いろいろなことを教えてくれる友だちです。

Q 読書感想文は、何のために書くのですか。

A 書くことによって考えを深められるからです。読書感想文を書くことを通して思考の世界へ導かれ、著者が言いたかったことに思いをめぐらせたり、わからなかったことを解決したりできるのです。ですから読書感想文は「考える読書」ともいわれます。また、どんなに強く心を動かされても、時間がたてばその記憶は薄れてしまいます。読書感想文は自分自身の記録です。読み返すことによって、いつでも「感動した自分」に出会うことができるのです。

Q 「課題読書」・「自由読書」って何ですか。

A 読書感想文コンクールの主催者が指定した本を読んで書くのが「課題読書」です。本の専門家の先生方が、新しく出版されたたくさんの本の中から、学年に合わせて、多くの感動を得られたり新たな知識を得られたりする本を、フィクション、ノンフィクション、外国作品など幅広く選んだものです。ぜひ読んでみてください。一方、自分で読みたい本を自由に選んで読書感想文を書くのが「自由読書」です。フィクションでもノンフィクションでもかまいません。読書感想文は「読書の幅」を広げるチャンスです。ふだん物語や小説をよく読む人は科学の本にチャレンジしたり、スポーツの本をよく読む人は伝記を読んでみてください。

Q 何をどう書けばいいかわかりません。どうすればいいですか。

A 本を読んで自分がどこに感動したのか、なぜ感動したのかを考えましょう。そしてもう一度本を読んでみましょう。自分の生き方や経験と本の世界とを照らし合わせると、いろいろなことが見えてきます。感じたこと、思ったこと、連想したことなどを忘れないうちに全部メモしておきましょう。そうしたら、順番を入れ替えたり内容を補ったりして、どう書けば自分の心の動きにぴったりするか、それがうまく人に伝わるかを考えましょう。先生や家の人と相談してみるのもいいでしょう。そうするうちに何をどう書けばいいのかが、自分が一番言いたいことは何なのかがはっきりしてきます。書き終わった時には、それまでとはどこか少し違った自分になっていることに気づくはずです。

Q どんな本を読んだらいいのかわかりません。教えてください。

A 思いっきり楽しめたり、自分を見つめなおしたり、新しいことを教えられたり……。自分の心を突き動かしてくれる本が、その人にとっての「良い本」だといえます。自分に合った、心を動かされる本を探してみましょう。迷ったら、自分のことをよく知っている人、たとえば家族や担任の先生、教科の先生、部活の顧問の先生に相談してみましょう。「本の専門家」の図書館の先生に相談してもいいでしょう。友だちと紹介し合うのもいいですね。

Q 題名はどうつけたらいいですか。

A 本を選ぶとき、本の題名を見ながら「おもしろいなあ？」とか「読んでみようかなあ？」と考えることはありませんか。題名一つ見ただけで「読んでみたい」とか「読みたくない」とか思ってしまう。魅力的な題名は人をひきつける力があります。せっかく書いた読書感想文ですから、人が読んでみたくなるような題名を考えましょう。自分が一番感動したことやもっとも言いたいことの、中心となることばを考えて題名にするといでしょう。

Q 読んだ本の本文や解説などを引用してもいいですか。

A 読書感想文は、本を読んだ自分の思いや心の動きを中心に書くものですから、できるだけ自分のことばを使って書くようにしましょう。確かに解説やあとがきなどは、本の世界をより深く理解するために参考になることがあります。ですから、場合によっては引用する必要が出てくるかもしれません。そのときは、どうしても必要な部分だけを引用することにして、必ず「」（カギカッコ）でくくりましょう。

Q 字数は規定の字数以内なら何字でもいいですか。

A 本を読んだ感動や本を読んで考えたことを、人に伝えるように十分に書き表すためには、ある程度のことばの量が必要です。心の中のおふれる思いを、たくさんのことばを使って表現してみましょう。字数の規定はいわばことばで表現できるグラウンドの広さです。せっかく広いグラウンドが用意されているのに、それを自分で狭くする必要はありません。規定の字数をなるべくいっぱい使って、思いっきり読書の感動を表現してみましょう。



1. 最後まで読み終えた本を選ぼう。



新しく読み始めてもいいし、今まで読んだ本から選んでもいいよ。読み終えていることが大事だよ。「つまらなかった」ならそれが感想になるので問題ないよ。どこがどのようにつまらなかったか、作者または登場人物に助言するなら～、と展開していけるよ。書くことに迷ったら夏休みあかね先生と一緒に取り組もう！

2. 誰に向けて書くか決めよう。(作者、先生、友人、コンクールの審査員など)

この本は NotForMe でした。主人公の行動に納得がいきません。先生の感想も聞いてみたいです。あらすじは、作者の「この物語は君たちの未来だ。」という前置きに、私は反論したい。私たちが目指す未来はもっと

3. 本を決めた「きっかけ」を書く。

経済新聞を読む授業がありました。難しい言葉がたくさん出てきてつまらなく思いました。でも、お金と関わらず生活することは出来ないし、まずはやさしく学べるものを探していたとき、司書のあかね先生が

表紙は黒板と同じ色で、白文字のタイトルがよく映えている。制服を着た男女が描かれ、私の過ごす学校生活となんら変わらない。ただ違和感があるのは、そのあぜんとした表情だ。印象的な表情のワケを知りたくて

4. 本のあらすじを説明する。(2～4行)

5. 自分の暮らし・経験と比べて書く。

6. 考えたこと・感じたことを具体的に書く。

文字数が足りなかったら④～⑥をくり返そう。あらすじはだらけがち。要点をおさえよう。



具体的に書くというのは「いつ・どのように・なぜ」を足していくことだよ。例えば「最初がつまらない」という感想を具体的にしてみるよ。

物語の冒頭はつまらなく感じた。涙がでたのは感動したのではなく、アクビが止まらないから。ロマンスを期待しているのに、法律の話ばかりでがっかりする。しかし実はこの場面が

7. 本から1行程度引用する。



カッコいい表現や名言をぬきだしてみよう！ 引用は切り札なので使えるのは一度きり。どこで使うかはよく考えよう。作文の始めに持ってきて印象的だし、終わりにしてもカッコイイ。あらすじにも使えるから万能だ！

8. 読む前・後の自分の変化を書く。



起承転結の「結」にあたる部分だよ。心境、行動、新しい目標、発見など自分のなかの変化を書いてみよう。作文の書き出しにしてもいいね。例えば「私はこの夏、成長した。253 ページの本を読み切ったから……。」